

京都府版ロービジョンケア紹介リーフレット「さくら」の使用方法

(スマートサイト京都府版)

ロービジョンケアの重要性は近年広く認識されてきています。しかし、ロービジョンケアには医療、教育、福祉等様々な分野の連携が必要です。連携に役立つのが「ロービジョンケア紹介リーフレット（スマートサイト）」です。見えにくくて困っている方に渡すだけで簡単に情報提供ができ、支援機関につなぐことができるツールです。京都ロービジョンネットワークは、2018年5月に京都府版ロービジョンケア紹介リーフレット「さくら」（スマートサイト京都府版）を作成・発行しました。見えにくくて困っている方へ、ぜひお渡しください。

●「さくら」を渡す対象者（「さくら」内面に表示）●

視力が両眼とも0.4以下、視野が正常のおよそ半分以下、まぶしくて困っている、目のことで学業、仕事、家事、育児などに不安や不自由がある、その他、見えにくい・見えないことで困っている、などです。

*あくまでも「目安」であり、どなたに渡していただいても構いません。

●「さくら」の渡し方（「さくら」内面に表示）●

「困ったときに利用してください」と言って、対象者にお渡しする。

*ロービジョンケアの説明はしなくても大丈夫です。忙しい中でも「渡すだけ」でロービジョンケアの第一歩を患者さんに提供できます。

●京都ロービジョンネットワークの仕組み●

当事者（見えにくくて困っている方）が京都ロービジョンネットワークの相談窓口（電話：075-462-4400）に電話し、「『さくら』を見た。」と伝えると、相談員につながります。相談内容に応じて、相談員が福祉団体、教育機関、訓練機関、ロービジョンケアを実施している医療施設や患者団体等々と連携し、情報提供や支援が行われます。

●医療関係者の方、支援者の方へお願い（もしも可能でしたら）●

①当事者（見えにくくて困っている方）に「さくら」をお渡した際に、京都ロービジョンネットワーク総合相談窓口まで、当事者のお名前と連絡先をお伝えください。相談員から当事者へ連絡できるため、確実な支援につながります。

②当事者の情報（視機能等）を京都ロービジョンネットワークへお知らせください（当事者に渡す、ネットワークへ郵送する等）。視力、視野の結果だけでも結構です。[京都ライトハウス宛ての支援依頼書](#)（ネットワーク HP からダウンロード可）もご利用できます。

●参考資料（医療関係者、支援者用）●

- ・ [ロービジョンケア実施医療施設の一覧](#)
- ・ [教育・福祉関係機関一覧](#)

（注意①）直接これらの医療機関・施設等に当事者（見えにくくて困っている方）を紹介される際には、必ずご自身で各医療機関にロービジョンケアに対応可能かどうかを問い合わせしてから紹介してください。

（注意②）この二つの一覧は当事者（見えにくくて困っている方）が見てもわかりづらいため、医療関係者、支援者が参考としてのみ利用し当事者には一覧をお渡ししないでください。

* 日本眼科医会は「スマートサイト」を「ロービジョンケア紹介リーフレット」と表現することを推奨していますので京都府版でもそれに倣います。

このリーフレットは、「見えにくい」「見えない」こと（ロービジョン）でお困りの方が、気軽に相談し、適切なアドバイスなどを受けられるように、京都府内の施設や団体をご案内する目的で作成しました。

- 本が読みにくい
- まぶしくて見えにくい
- 歩きづらい
- 仕事を続けられない
- 学校で困っている
- 気持ちが落ち込む など

どんなことでも
先ずご連絡下さい。

京都ロービジョンネットワーク
*このリーフレットの内容は、京都府のロービジョンお守り帳から採りました。

こんな道具や工夫があります

- 大きくする
例) 拡大鏡(ルーペ)、拡大読書器、iPad
- 見やすい配色を工夫する
例) ごはんは黒い茶碗によそう
- 音声を利用する
例) 音声図書、音声パソコン、音声時計、音声メモ
- 触覚を利用する
例) 触ってわかるように立体のしるしをつける
- 安全に外出する
例) 白杖、ガイドヘルパー
- 楽しく過ごす
例) スポーツ、俳句、サークル活動

「見えにくい」「見えない」ことでお困りの方へ

相談できる医療機関・福祉・教育施設のご案内



ロービジョンケア紹介リーフレット
「さくら」
発行
京都ロービジョンネットワーク
(京都府視覚障害者協会 協賛) (9月内)
発行者: 公益社団法人京都府視覚障害者協会
後援: 京都ライトハウス後援会
協力: 京都府、京都府

京都ロービジョンネットワーク 総合相談窓口
(社会福祉法人 京都ライトハウス内)
TEL 075-462-4400
京都ロービジョンネットワーク **後援**

「見えにくい」「見えない」こと(ロービジョン)の相談、道具の相談、日常生活のアドバイスなどが受けられます。訪問による相談なども可能です。ご相談内容に応じて、適切な施設・団体をご紹介します。リーフレット「さくら」を見た、と、お電話を！ **相談は無料です。**
相談時間：月～金、9時～17時(土・日・祝日休み)
*丹後視覚障害者福祉センター(北部)、京都視覚障害者支援センター(南部)でも相談が可能です。あなれの地域の相談員を紹介できます。

ロービジョンケア実施医療施設

お近くに相談できる医療施設があります。
上記総合相談窓口までお問い合わせ下さい。

京都ロービジョンネットワーク(2017年4月設立)
事務局(京都ライトハウス内) 電話:075-462-0909 FAX:075-462-0985
構成団体: 京都府視覚障害者協会 / 社会福祉法人京都ライトハウス / 公益社団法人京都府視覚障害者協会 / 京都府立盲学校 / 京都府立視覚障害者支援センター / 社会福祉法人丹後視覚障害者福祉センター / 社会福祉法人京都視覚障害者支援センター / 公益社団法人関西盲聾協会 / 京都府視覚障害者支援センター

眼科医の方へ

このリーフレットは「見えにくい」「見えない」ことでお悩みの方が、その悩みに応じて、次のステップを積み重ねるように作成されました。以下のような方にお渡し下さい。

- 視力が両眼とも0.4以下。
- 視野が正常のおよそ半分以下。
- まぶしくて困っている。
- 目のことで学業、仕事、家事、育児などに不安や不自由がある。
- その他、見えにくい・見えないこと困っている。

「見えにくいこと困っているときに利用して下さい」とお伝えして下さい。

*リーフレット「さくら」の詳しい活用方法については、京都府視覚障害者協会HPをご覧ください。
©2018年(株)さくら

図1 京都府版ロービジョンケア紹介リーフレット
「さくら」 外面(上)、内面(下)

ネットワークのしくみ

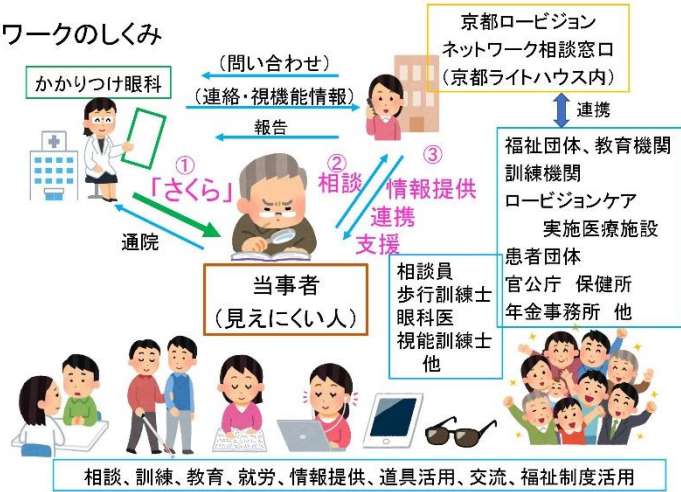


図2 京都ロービジョンネットワークの仕組み

もし、もしも可能なら……

ご本人の了解の上、

① 医療機関からロービジョンネットワーク事務局へお電話ください。

ご本人の連絡先等をお知らせください。
事務局から当事者へ連絡することで確実な支援につながります。



② 視機能の情報をお知らせください。
→ 支援依頼書の利用も可能です。

図3 もし、可能なら（お願い）